

令和4年第4回小規模多機能型居宅介護事業所

「紙ふうせん」運営推進会議議事録

日 時：令和4年10月27日（木）10：30～11：30

場 所：野栄福祉センター 1階和室

出席者：大木公正 伊藤良一 大木健守 及川大樹 太田奈津栄

市高齢者支援課 及川

社協	渡辺副会長	局長
紙ふうせん	佐藤	

●開会のことば 渡辺副会長

●委員長あいさつ

●議題

(1) 令和4年度8月・9月運営状況及び利用実績の報告について

委員長：以上報告がありました。何か質問はあるか。

及川大：泊りが8月9月ゼロだった。前回はゼロだったが、泊りを積極的に地域の皆さんにお知らせしていないのか。

佐 藤：職員数に余裕がないので、泊りを入れると日中の職員が足りなくなるので、積極的に受けていない。特に8月は職員2名のコロナ感染もあり、大変な状況だったので泊りは勧めなかった。ニーズがあり、職員配置ができれば受け入れは出来る。

伊 藤：いつも数字を見ると同じような数だが、変わらないほうがいいのか。

佐 藤：定員まで増えた方が売り上げも上がるのでその方がいい。

委員長：職員がぎりぎりなので、こちらも新規利用者の声掛けをしていいのか迷う。

佐 藤：泊りなどを利用しない人であれば定員まで受け入れたい。泊りが入ると夜間で1人職員がとられてしまうので、日中の職員が足りなくなってしまう。

委員長：職員数が現在の状態で現在の運営は回っているのか。

佐 藤：なんとか回っている。定員が24名なのでそこまでは近づきたい。

局 長：8月は本当に職員が手薄になる送迎時など、本所から手伝いに行ったのが2日あった。

佐 藤：帰りの送迎時に留守番をお願いした。

委員長：米つきに紙ふうせんの精米所に行くが、10時頃行って覗いてみるとみんな忙しそうに動いている。

佐 藤：ちょうど10時ごろは利用者が到着し、始まる頃なのでお風呂の用意をしたり慌ただしい時間帯になっている。

伊 藤：介護4の利用者が居なくなったがどうしてか。

佐 藤：入所されたり、介護度が下がったりして現在はいない。

委員長：椿海と平和の利用者が1人ずつ増えたが、介護か支援か。

佐 藤：介護1名、支援1名増えている。

太 田：介護度があまり高いと紙ふうせんでは大変だと思う。

伊 藤：支援ぐらいがいいのか。

佐 藤：介護と支援では利用料が違う。介護の方が料金が高いため介護の利用者に来てもらいたい。

委員長：パンフレットを見ると要介護1だと1割負担で10,420円、要支援1だと1割負担で3,438円となっている。要支援で20日来て食事代600円入れて15,000円ぐらいか。

佐 藤：要支援の利用者で20日利用する人はいない。要支援の方は週2回程度、要介護の方はその方の事情に合わせて週3回、それ以上利用する場合がある。

大 木：介護認定が非該当でもサービスを利用したいという人がいる。

及 川：非該当の方でもサービスを利用したい場合は地域包括に相談してもらい、チェックリストがあるのでそれに該当し認められると総合事業サービスでデイサービスやヘルパーを利用できる。

委員長：高齢者は手続き等が大変なので、介護申請など難しいことが多い。もっと簡略化されればいいが。

及 川：困り事があれば西部でも直営でも地域包括に相談してくれれば対応する。

委員長行事報告について何かあるか。

大 木：8月はコロナで大変だったが状況が落ち着いたら、文化祭など行事参加もできるだろう。

佐 藤：そろそろボランティアを解禁してもいいのか悩んでいる。

局 長：県社協でもそろそろボランティアの再開をどうするか話題になった。

委員長：誕生会等利用者は喜んでいるのか。

佐 藤：高齢になるとお誕生日のお祝いをする家庭が少ないので喜ばれる。食事もお赤飯などのお祝いメニューや誕生者の好きなものを提供する。

委員長：今の時期はサンマ祭りをやっていた。そば打ちもよかったが。

太 田：みんなで作って食べるのが今は出来ない。小学校でもみんなで歌を歌うのもできない。

佐 藤：高齢者はカラオケや歌うことが好きだが、今は出来ない。

太 田：避難訓練は毎回想定を変えているのか。

佐藤：だいたい同じだが地震や火災、津波などを想定して栄小学校まで車で避難したりしている。11月は消防署を呼んで防火訓練を予定している。

委員長：コロナ禍の中で我々もどこまで関わられるか考えてしまう。

佐藤：業者に頼むまでではないが、何か壊れた時に直してくれる人がいたら助かる。

委員長：ちょこっとサービス協力会員の中にも協力してくれる人がいると思うがそういう人を頼んではどうか。

太田：私の知り合いにも器用な人がいる。連絡をくれれば声をかける。

及川大：私もいますよ。生垣を刈る時は声をかけてもらえれば。

委員長：地域の中でもいろいろな技術をもっている人がいる。

大木：声をかけてくれれば人材は集まるので、いつでも言ってほしい。

●閉会のことば 渡辺副会長